

素案

資料 2

平成22年1月 日

村上市長 大滝平正 様

山北地区地域審議会
会長 斎藤寅二

村上市山北地区の活性化のための意見書について(提出)

村上市山北地区の活性化のための意見・提言について、当審議会において審議し取りまとめたので、別紙のとおり提出します。

村上市山北地区活性化のための意見書

新村上市では、合併後即座に現状と社会情勢の変化を踏まえながら将来のあるべき姿を見据えた「行政改革大綱」を策定し、行財政基盤の確立のために事務事業の見直しを始め、組織・職員改革や施設改革などに積極的に取り組んでおり、将来のまちづくりに向けた積極的な姿勢を評価いたします。

しかし、合併から1年半が経過し、さまざまな課題や問題点も出てきています。現在の山北地区における課題・問題点の整理を行いながら、これからの山北地区の活性化のために必要な施策を以下のとおり提案するとともに、各地区の活性化が村上市全体の活性化につながることを期待します。

1 協働のまちづくりへの積極的な支援

“自分たちの地域は自分たちでよくする”の基本理念のもとに官民一体となった「協働のまちづくり」は進められなければならない。

このためには行政と住民の役割をわかりやすく周知することはもちろん、行政としても積極的で具体的な支援を示すことが必要である。

また、人口・世帯数などの集落規模による格差を生まないよう、柔軟な対応が必要である。

2 安全で安心して暮らせる地域の実現

行政手続きなどの窓口業務以外の予算執行や事業執行にかかる行政機能が本庁へ集中し、住民に身近な行政として、支所の機能が十分に発揮されていない。このことから支所に一定の権限を付与し、支所完結型の業務体系の確立を図ること。

また、広い面積と点在する集落をカバーし、交通手段を持たない高齢者・学生などの交通手段を確保するため、コミュニティバスの早期導入を図ること。

さらに、地域防災の維持向上を図るためには、要である地域消防団員の確保とともに、自主防災組織設立を推進する必要があるが、高齢化の進行した集落が多い状況から、実情にあった支援をすること。

3 豊かに暮らせる地域の実現

住民が地域に自信と誇りを持って暮らしていくためには、地域を担う子どもや若者が地域行事やまちづくりなどへ積極的に参画できる機会が必要である。そのための参画する場の提供や支援を行うこと。

また、豊かに暮らし続けるため地域で産するものが地域で消費される「地産地消」の取り組みを進めるとともに、地域産物の「特産品」開発支援による「コミュニティビジネス」の創設への支援を積極的に行うこと。

4 魅力ある地域を創出するための支援

山北地区49の集落には、それぞれ個性があり、それを活かした「魅力ある集落づくり事業」を推進し取り組みを進めてきている。

今後も、画一的ではなく各地域の実情に合った「個性的」な事業支援を行うこと。

当山北地区の「財産」は海・山・川の豊かな自然、歴史と風土に根ざした文化・生業、そして、あたたかい心と人です。

これは山北地区の「個性」ともいえるもので、これらを資源として活用しながら地域コミュニティの原点である集落単位での集落自治活動、公民館活動のほか、平成元年から全集落で取り組んできた「魅力ある集落づくり事業」は培われ、地域住民の助け合いの精神から、住民の自信と誇りにもつながってきています。

山北地区は、これからもこれらの財産である資源を活用しながら地域活性化のための取り組みを住民が「主役」となり、進めていきたいと考えています。